

## CSR関連 非財務データ

### 【掲載内容】

- LIXILグループ 従業員データ
- 02 集計対象範囲について
- 03 従業員の構成
- 04 ダイバーシティの構成と労働安全
  
- LIXILグループ 環境負荷データ
- 05 集計対象範囲について
- 06 マテリアルバランス（ INPUT ）
- 07 マテリアルバランス（ OUTPUT ）

### 【対象期間】

2015年3月期（2014年4月1日～2015年3月31日）

### 【第三者審査について】

株式会社LIXILグループでは、「アニュアルレポート2015 別冊データ集CSR関連非財務データ」に記載されている数値データの信頼性確保のため、株式会社トーマツ審査評価機構による第三者保証を受けております。株式会社トーマツ審査評価機構の「独立した第三者保証報告書」は下記のホームページに掲載しています。

・(株)LIXILグループ CSR・環境活動：<http://www.lixil-group.co.jp/sustainability/>

・(株)LIXIL CSR経営：<http://www.lixil.co.jp/corporate/csr/>

# LIXILグループ 従業員データ

## 集計対象範囲について

報告対象組織は、(株)LIXIL グループ及び、(株)LIXIL グループの子会社 5 社\*1 と、(株)LIXIL の主要子会社（国内 12 社\*2 海外 25 グループおよび子会社\*3）、計 43 グループおよび子会社です。2015 年 3 月 31 日時点での多くの主要子会社を含みますが、報告範囲は連結財務諸表とは異なります。

### ■(株)LIXIL グループの事業会社\*1

(株)LIXIL、(株)LIXIL ビバ、(株)LIXIL 住宅研究所、(株)LIXIL リアルティ、(株)日本住宅保証検査機構

### ■(株)LIXIL の主要子会社

- ・国内連結子会社\*2： (株)川島織物セルコン、ハイビック(株)、(株)LIXIL トータル販売、旭トステム外装(株)、(株)G テリア、(株)LIXIL 鈴木シャッター、ジャパンホームシールド(株)、(株)LIXIL トーヨーサッシ商事、(株)ダイナワン、(株)テムズ、(株)LIXIL リニューアル、(株)LIXIL トータルサービス
- ・海外連結子会社\*3： Permasteelisa Group、ASD Americas Holding Corp.、TOSTEM THAI Co., Ltd.、驪住通世泰建材(大連)有限公司、A-S CHINA PLUMBING PRODUCTS Ltd.、LIXIL Vietnam Corporation、LIXIL GLOBAL MANUFACTURING VIETNAM Co., Ltd.、LIXIL (Thailand) Public Co., Ltd.、驪住海尔住建設施(青島)有限公司、PT AMERICAN STANDARD INDONESIA、AMERICAN STANDARD VIETNAM Co., Ltd. 他、連結子会社 14 社

※GROHE Group S.à r.l.は集計対象外

## 集計方法・集計期間について

人員数については、主に 2015 年 3 月 31 日時点の各会社の原籍ベースで集計しています。  
労働災害度数率および強度率については出向先会社（原籍ベースではない）で集計しています。

## その他の従業員データについて

本誌に掲載しているデータの他に、日本国内における「月平均残業時間」「有給休暇利用状況」「採用・離職人数」「定年後再雇用者数」「平均勤続年数」「入社 3 年目離職率」「出産休暇制度」「育児・介護休業制度の利用状況」等についても第三者保証を実施し、下記のホームページに掲載をしています。

- ・(株)LIXIL グループ CSR・環境活動：<http://www.lixil-group.co.jp/sustainability/>
- ・(株)LIXIL CSR 経営：<http://www.lixil.co.jp/corporate/csr/>

## 従業員の構成

LIXIL グループでは、従業員の採用や雇用にあたっては人権を尊重し、公正な選考と、属性に拘らない多様な人材の確保に努めています。

### 雇用形態別従業員数

				人員数	構成比（％）
日本	直接雇用	正社員*1	男	17,988	25.4
			女	5,484	7.7
			計	23,472	33.1
		非正社員*2	男	2,876	4.1
			女	7,661	10.8
			計	10,537	14.9
		男 計		20,864	29.5
		女 計		13,145	18.5
		合 計		34,009	48.0
	間接雇用*3			2,345	3.3
合計			36,354	51.3	
海外		正社員*1	27,703	39.1	
		非正社員*2	1,157	1.7	
		間接雇用*3	5,598	7.9	
		合 計	34,458	48.7	
LIXIL グループ 総計				70,812	100.0

\*1 正社員：期間の定めの無い労働契約に基づき雇用している社員

\*2 非正社員：期間の定めの有る労働契約に基づき雇用している社員

\*3 間接雇用：派遣社員のみ

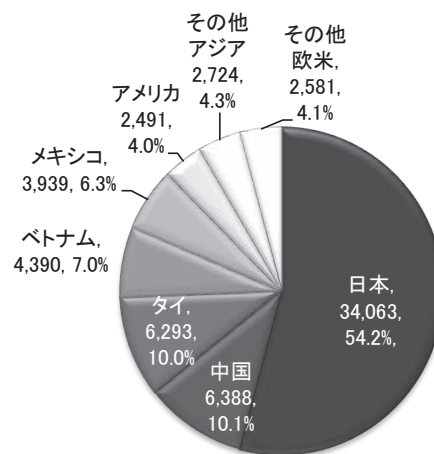
### 国別従業員数：直接雇用のみ

国	人員数	国	人員数
日本	34,063	インド	536
中華人民共和国	6,388	香港	490
タイ	6,293	オランダ	345
ベトナム	4,390	カナダ	283
メキシコ	3,939	アラブ首長国連邦	274
アメリカ	2,491	シンガポール	201
ドイツ	879	その他、アジア	661
イタリア	839	その他、欧米	235
インドネシア	562	合計	62,869

※従事している事業所の所在地または本拠地別の集計

※その他、アジアにオーストラリアを含む

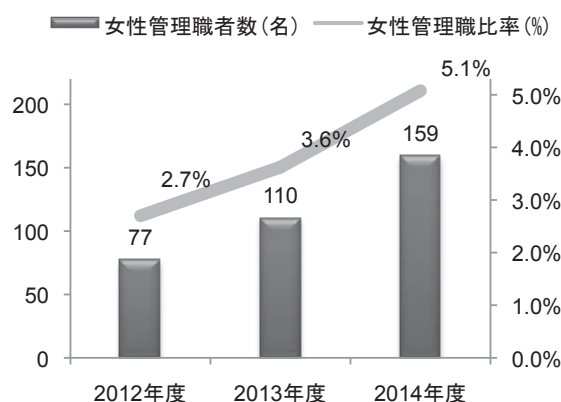
※その他、欧米にロシアを含む



## ダイバーシティの構成・労働安全（日本国内のみ）

企業力を高めるための創造力とエネルギーを生み出す企業文化づくりの一環として積極的にダイバーシティを推進しています。また、働くすべての人の安全を優先した職場づくりに努めてまいります。

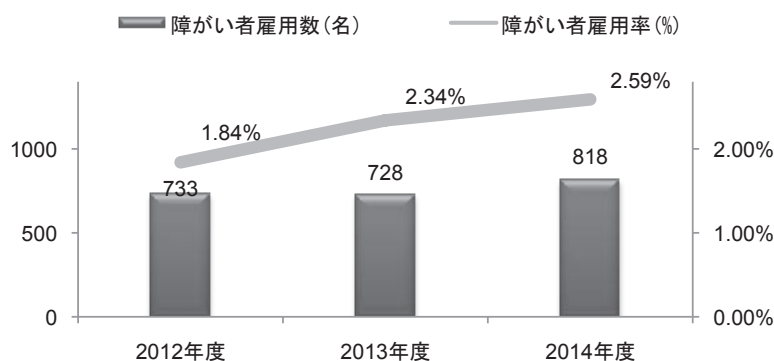
### 管理職者数と構成比



2014 年度		人数	構成比(%)
性別	男性	2,972	94.9
	女性	159	5.1
年代別	30～39 歳	59	1.9
	40～49 歳	1,417	45.2
	50 歳以上	1,655	52.9
合計		3,131	100.0

※各事業会社の資格制度に基づく集計

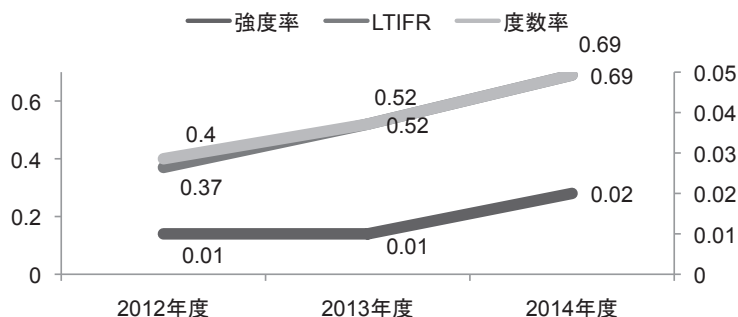
### 障がい者雇用者数と雇用率



※当該年度の3月31日時点の人員による

※厚生労働省が定める「障害者雇用率制度」の算出方法に基づく

### 労働災害度数率・強度率



※直接雇用の従業員のみ

※度数率、強度率：厚生労働省「労働災害動向調査」の算出方法に基づく

※LTIFR：Lost Time Injuries Frequency Rate

休業を伴う労災件数／延実労働時間×1,000,000（休業の定義は1日以上）

# LIXILグループ 環境負荷データ

## 集計対象範囲について

環境負荷データの集計対象組織は、会社規模・事業内容を考慮し、一部の連結子会社を除いては、原則2014年4月時点での事業会社並びにその連結子会社としています。また、非連結子会社については、一部の生産、物流子会社（㈱LIXIL物流、驪住建材(上海)有限公司、無錫茂泰特殊門有限公司)のみを含んでいます。（建物をLIXILグループの事業会社が所有し同社の管理下にある場合は、LIXILの組織下として含んでいます）尚、連結財務諸表と対象範囲は異なります。対象範囲が異なる項目は個別に注釈を記載しています。

### ■㈱LIXIL グループの事業会社

㈱LIXIL、㈱LIXIL ビバ、㈱LIXIL 住宅研究所、㈱LIXIL リアルティ、㈱クラシス、  
㈱日本住宅保証検査機構、LIXIL グループファイナンス㈱

### ■㈱LIXIL の主要子会社

・ 国内連結子会社：㈱川島織物セルコン、ハイビック㈱、サンウエーブ工業㈱、  
㈱LIXIL トータル販売、旭トステム外装㈱、Gテリア㈱、㈱LIXIL 鈴木シャッター、  
ジャパンホームシールド㈱、㈱LIXIL トーヨーサッシ商事、㈱ダイナワン、㈱テムズ、㈱クワタ、  
大分トステム㈱、西九州トステム㈱、トステムマネジメントシステムズ㈱、㈱LIXIL トータルサービス、  
LIXIL エナジー㈱、㈱LIXIL リニューアル、㈱LIXIL インフォメーションシステムズ

・ 国内非連結子会社：㈱LIXIL 物流

・ 海外連結子会社：TOSTEM THAI Co., Ltd.、驪住通世泰建材(大連)有限公司、  
LIXIL AS Sanitary Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd.、  
LIXIL AS Sanitary Manufacturing (Tianjin) Co., Ltd.、  
Jiangmen LIXIL AS Sanitary Fitting Manufacturing Co., Ltd.、  
HUA MEI SANITARY WARE Co., Ltd.、LIXIL Vietnam Corporation、  
驪住海尔住建設施(青島)有限公司、驪住建材(蘇州)有限公司、驪住衛生潔具(蘇州)有限公司  
他、海外連結子会社 4 社、非連結子会社 2 社

※Permasteelisa Group（ペルマスティリーザグループ）、American Standard Brands（アメリカンスタンダード ブランズ）、GROHE Group S.à r.l.(グローエグループ)は集計対象外

## 調達および物流データについて

■調達：㈱LIXIL グループ環境マネジメントシステムの傘下で製品を製造している拠点を算定範囲としています。製品に用いられる原材料、部品、包装資材の全てを算定対象としており、生産設備、オフィス消耗品は除外しています。（日本国内：41 拠点、海外：13 社）

■物流：省エネ法（特定荷主）として指定された対象のみを算定範囲としています。（㈱LIXIL 物流：日本国内 17 拠点）

## マテリアルバランス(INPUT)

## ■調達

使用量		2013 年度		2014 年度			
原材料	アルミ原料	148,882	t	164,461	t		
	その他金属	86,567	t	80,417	t		
	樹脂原料	39,620	t	37,090	t		
	木質原料	268,735	t	238,259	t		
	窯業原料	531,006	t	379,384	t		
	その他	153	t	168	t		
部品・部材	金属部品	117,407	t	104,018	t		
	樹脂部品	127,658	t	134,744	t		
	木質部品	99,999	t	86,936	t		
	窯業部品	262,207	t	249,026	t		
	梱包資材	17,892	t	17,298	t		
	その他	253,272	t	147,395	t		
合計		1,953,398	t	1,639,198	t	削減量	前年比
エネルギー消費量		38,046	千 GJ	38,108	千 GJ	－62 千 GJ	0.2%増

※部品・部材の重量は購入金額からの換算値

※㈱LIXIL およびその海外連結子会社、㈱川島織物セルコン及びハイビック㈱の生産拠点を対象

※2013 年度の数値を一部修正

## ■製造・販売

エネルギー使用量		2013 年度		2014 年度			
電気		969,360	千 kWh	925,966	千 kWh		
都市ガス		100,084	千 m <sup>3</sup>	93,388	千 m <sup>3</sup>		
LNG		16,645	t	14,931	t		
LPG		14,758	t	13,364	t		
灯油		3,766	kL	3,232	kL		
重油		11,928	kL	6,548	kL		
軽油		2,528	kL	2,925	kL		
ガソリン		9,655	kL	8,773	kL		
蒸気		167,590	GJ	142,673	GJ		
太陽光発電使用量*		26	千 kWh	24	千 kWh	削減量	前年比
エネルギー消費量		16,808	千 GJ	15,649	千 GJ	1,159 千 GJ	6.9%減

\*自社工場敷地内の設備（自家使用分）

取水量		2013 年度		2014 年度			
上水		1,552	千 m <sup>3</sup>	1,547	千 m <sup>3</sup>		
工業用水		6,484	千 m <sup>3</sup>	4,808	千 m <sup>3</sup>		
地下水		5,040	千 m <sup>3</sup>	4,233	千 m <sup>3</sup>		
合計		13,076	千 m <sup>3</sup>	10,588	千 m <sup>3</sup>	削減量	前年比
エネルギー消費量		19.0	千 GJ	16.1	千 GJ	2.9 千 GJ	15.3%減

※㈱LIXIL の本社の一部、支社及び営業系列の連結子会社、㈱LIXIL 住宅研究所、ハイビック㈱、  
㈱日本住宅保証検査機構、㈱クラススを除く

取扱量		2013 年度		2014 年度		削減量	前年比
化学物質		6,650	t	5,908	t	742 t	11.2%減

※㈱LIXIL、旭トステム外装㈱、㈱LIXIL 鈴木シャッター、㈱LIXIL ビバを対象に集計

※2013 年度の数値を修正

## ■物流

エネルギー使用量		2013 年度		2014 年度			
原油換算		52,631	kL	46,886	kL	削減量	前年比
エネルギー消費量		2,040	千 GJ	1,817	千 GJ	223 千 GJ	10.9%減

※㈱LIXIL 物流を対象に集計

## マテリアルバランス(OUTPUT)

### ■調達（スコープ 3）

CO <sub>2</sub> 排出量		2013 年度	2014 年度		
原材料	アルミ原料	788 千 t-CO <sub>2</sub>	951 千 t-CO <sub>2</sub>		
	その他金属	162 千 t-CO <sub>2</sub>	153 千 t-CO <sub>2</sub>		
	樹脂原料	85 千 t-CO <sub>2</sub>	84 千 t-CO <sub>2</sub>		
	木質原料	215 千 t-CO <sub>2</sub>	195 千 t-CO <sub>2</sub>		
	窯業原料	97 千 t-CO <sub>2</sub>	76 千 t-CO <sub>2</sub>		
	その他	1.5 千 t-CO <sub>2</sub>	1.7 千 t-CO <sub>2</sub>		
部品・部材	金属部品	501 千 t-CO <sub>2</sub>	495 千 t-CO <sub>2</sub>		
	樹脂部品	302 千 t-CO <sub>2</sub>	303 千 t-CO <sub>2</sub>		
	木質部品	82 千 t-CO <sub>2</sub>	72 千 t-CO <sub>2</sub>		
	窯業部品	47 千 t-CO <sub>2</sub>	48 千 t-CO <sub>2</sub>		
	梱包資材	40 千 t-CO <sub>2</sub>	37 千 t-CO <sub>2</sub>		
	その他	329 千 t-CO <sub>2</sub>	243 千 t-CO <sub>2</sub>	削減量	前年比
合計		2,649 千 t-CO <sub>2</sub>	2,657 千 t-CO <sub>2</sub>	-8 千 t-CO <sub>2</sub>	0.3%増

※(株)LIXIL およびその海外連結子会社、(株)川島織物セルコン及びハイビック(株)の生産拠点を対象

※2013 年度の数値を一部修正

### ■製造・販売（スコープ 1,2）

CO <sub>2</sub> 排出量		2013 年度	2014 年度		
電気		439 千 t-CO <sub>2</sub>	420 千 t-CO <sub>2</sub>		
都市ガス		211 千 t-CO <sub>2</sub>	197 千 t-CO <sub>2</sub>		
LNG		45 千 t-CO <sub>2</sub>	40 千 t-CO <sub>2</sub>		
LPG		44 千 t-CO <sub>2</sub>	40 千 t-CO <sub>2</sub>		
灯油		9 千 t-CO <sub>2</sub>	8 千 t-CO <sub>2</sub>		
重油		32 千 t-CO <sub>2</sub>	18 千 t-CO <sub>2</sub>		
軽油		7 千 t-CO <sub>2</sub>	8 千 t-CO <sub>2</sub>		
ガソリン		22 千 t-CO <sub>2</sub>	20 千 t-CO <sub>2</sub>		
蒸気		10 千 t-CO <sub>2</sub>	9 千 t-CO <sub>2</sub>	削減量	前年比
合計		820 千 t-CO <sub>2</sub>	759 千 t-CO <sub>2</sub>	61 千 t-CO <sub>2</sub>	7.5%減

廃棄物排出量		2013 年度	2014 年度		
リサイクル		111,566 t	103,946 t		
埋立		49,981 t	54,553 t	削減量	前年比
合計		161,548 t	158,499 t	3,048t	1.9%減

※(株)日本住宅保証検査機構、(株)クラシスを除く

※2013 年度の数値を修正

排水量		2013 年度	2014 年度	削減量	前年比
排水		10,851 千 m <sup>3</sup>	9,729 千 m <sup>3</sup>	1,122 千 m <sup>3</sup>	10.3%減

※(株)LIXIL の本社の一部、支社及び営業系列の連結子会社、(株)LIXIL 住宅研究所、ハイビック(株)、(株)日本住宅保証検査機構、(株)クラシスを除く

排出移動量		2013 年度	2014 年度	削減量	前年比
化学物質		340 t	321 t	19 t	5.6%減

※(株)LIXIL、旭トステム外装(株)、(株)LIXIL 鈴木シャッター、(株)LIXIL ビバを対象に集計

※2013 年度の数値を修正

### ■物流（スコープ 3）

CO <sub>2</sub> 排出量		2013 年度	2014 年度	削減量	前年比
燃料（原油換算）		140 千 t-CO <sub>2</sub>	125 千 t-CO <sub>2</sub>	15 千 t-CO <sub>2</sub>	10.9%減

※(株)LIXIL 物流を対象に集計

### [エネルギー消費総量の算定方法]

- ・エネルギー消費量(調達) ※1=(原材料購入量)×(エネルギー換算係数※2)+(部品・部材購入金額)×(エネルギー換算係数※3)
- ・エネルギー消費量(製造・販売) ※4=(電気・燃料使用量、取水量) × (エネルギー換算係数※5)
- ・エネルギー消費量(廃棄)=(製品を廃棄するときの埋立て・焼却量) × (エネルギー換算係数※2)
- ・エネルギー消費量(輸送)=(輸送重量) × (輸送距離) × (エネルギー換算係数※6)
- ※1 原材料エネルギー消費量には、鉱山等での採掘・選別と工場等での調合・精錬にて素材へ加工し、日本へ輸送するまでを含む  
部品・部材のエネルギー消費量には、原材料の採掘から精錬や加工、日本への輸送に加えて、日本国内での組立て、加工も含む
- ※2 (社)産業環境管理協会「カーボンフットプリントデータベース ver.1」より算出した換算係数
- ※3 (社)日本建築学会「LCA データベース(2005 年産業連関表データ版)」
- ※4 製造・販売時のエネルギー消費量は製造・販売時の廃棄物処理量にエネルギー換算係数 (※2) を乗じて算出したエネルギーを含む
- ※5 [電気・燃料] 省エネ法「エネルギー種別の単位発熱量」2010 年度版  
[水] (社)産業環境管理協会「カーボンフットプリントデータベース ver.1」より算出した換算係数
- ※6 省エネ法 (荷主に係る措置) における「改良トンキロ法の燃料使用原単位、単位発熱量」より算出した換算係数

### [CO2 排出量の算出に用いた CO2 換算係数]

- ・購入電力：(日本)0.378、(中国)0.764、(韓国)0.489、(タイ)0.567、(ベトナム)0.427、(インドネシア)0.653 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)
- ・天然ガス：2.108 (kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>)、LPG：3.002 (kg-CO<sub>2</sub>/kg)、灯油：2.492 (kg-CO<sub>2</sub>/L)、重油：2.71 (kg-CO<sub>2</sub>/L)
- ・軽油：2.624 (kg-CO<sub>2</sub>/L)、ガソリン：2.322 (kg-CO<sub>2</sub>/L)、購入蒸気：0.06 (kg-CO<sub>2</sub>/MJ)
- ・出典：事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン 2005 年度版 (環境省)  
：GHG-emissions-from-purchased-electricity (Version-4\_4\_Aug-2012)



## 独立した第三者保証報告書

2015 年 10 月 7 日

株式会社 LIXIL グループ

取締役 代表執行役社長 兼 CEO 藤森 義明 殿

株式会社 トーマツ 審査評価機構  
東京都千代田区丸の内三丁目 3 番 1 号

代表取締役社長

稲永 弘

株式会社トーマツ審査評価機構（以下「当社」という。）は、株式会社 LIXIL グループ（以下「会社」という。）の「アニュアルレポート 2015 別冊データ集 CSR 関連非財務データ」に記載されている 2014 年度の CSR 関連非財務データ（LIXIL グループ従業員データ、LIXIL グループ環境負荷データ）及び Web ページに掲載するために作成した「LIXIL CSR 経営サイト」に記載されている保証マーク（★）の付された 2014 年度の CSR 関連非財務データ（「従業員とともに」、「環境活動」）（以下、合わせて「サステナビリティ情報」という。）について、限定的保証業務を実施した。

### 会社の責任

会社は、会社が採用した算定及び報告の基準（「アニュアルレポート 2015 別冊データ集 CSR 関連非財務データ」P.02、P.05、P.08 及び各保証対象並びに「LIXIL CSR 経営サイト」の各保証対象に注記されている。）に準拠してサステナビリティ情報を作成する責任を負っている。また、CO<sub>2</sub>排出量の算定は、排出係数と数値データの決定に利用される科学的知識が不完全である等の理由により、固有の不確実性の影響下にある。

### 当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく、国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規程」が定める独立性及びその他の要件を遵守した。また、当社は、国際品質管理基準第 1 号「財務諸表の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所の品質管理」に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

### 当社の責任

当社の責任は、当社が実施した手続及び当社が入手した証拠に基づいて、サステナビリティ情報に対する限定的保証の結論を表明することにある。当社は、「国際保証業務基準 3000 過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」（国際監査・保証基準審議会）、「国際保証業務基準 3410 温室効果ガス報告に対する保証業務」（国際監査・保証基準審議会）及び「環境報告書審査基準案」（環境省）に準拠して、限定的保証業務を実施した。

当社が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、質問、プロセスの観察、文書の閲覧、分析的手続、算定方法と報告方針の適切性及び報告書の基礎となる記録との一致又は調整、及び以下を含んでいる。

- ・ 会社の見積り方法が、適切であり、一貫して適用されていたかどうかを評価した。ただし、手続には見積の基礎となったデータのテスト又は見積の再実施を含めていない。
- ・ データの網羅性、データ収集方法、原始データ及び現場に適用される仮定を評価するため、事業所の現地調査を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務に対する手続と比べて、その種類と実施時期が異なり、その実施範囲は狭い。その結果、当社が実施した限定的保証業務で得た保証水準は、合理的保証業務を実施したとすれば得られたであろう保証水準ほどには高くない。

### 限定的保証の結論

当社が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、会社のサステナビリティ情報が、会社が採用した算定及び報告の基準に準拠して作成されていないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

以上



## 株式会社 LIXILグループ

東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  
霞が関ビルディング36階 〒100-6036  
<http://www.lixil-group.co.jp/>